

海洋深層水利用促進委員会 2016 滑川大会報告

山田勝久（海洋深層水利用学会 利用促進委員会）

今年の利用者懇談会は富山県で毎年開催されている「とやま深層水フォーラム」と合同開催の形で、海洋深層水利用学会の前夜にあたる11月10日（木）午後3時から5時まで、「海洋深層水からの高付加価値商品の開発に向けて」と題して、翌日から海洋深層水利用学会全国大会の会場となる滑川市民交流プラザでおよそ70名のご来場者が集まって開かれました。富山県深層水協議会の藤井会長からの開会ご挨拶に続き、ご来賓の富山県商工労働部大坪部長からの祝辞に続いて、開催地である滑川市の上田市長から海洋深層水事業に対する熱い魂のメッセージを頂きました。

本題に入って、長年に渡り海洋深層水利用研究を進められ、現在は富山県深層水協議会の顧問をされている古米、葭田両先生の富山海洋深層水利用研究例の紹介をキックオフとして、大学からは東京海洋大学の今田先生と鳥取大学の伊福先生から、今後の海洋深層水利用に向けた新しいヒントを頂きました。また産業界からポイントピュールの大道社長と DHC 海洋深層水研究所の山田所長から化粧品分野への応用についての話があり、これら多岐に渡る講演を富山県立大学の五十嵐先生の見事なコーディネートにより有意義な討議を経て締めくくられました。

会場を出たホールには、富山県深層水協議会が誇る海洋深層水の利用製品がテーブルいっぱい並べられ、また豪勢な試食会も行われて、富山県が海洋深層水に賭ける期待と想いが参加者全員の胸の奥深くまで伝わりました。今回の「とやま深層水フォーラム 2016」は、富山県、滑川市そして入善町が三位一体となって海洋深層水に取り組む姿に魅せられて各地域の海洋深層水事業関係者にとっても大いに力づけられたイベントとなりました、富山県、滑川市、入善町の方々にご講演頂きました先生方、そして本会にご参加頂きました皆様に厚くお礼を申し上げます。



藤井会長



大坪部長



上田市長



五十嵐教授